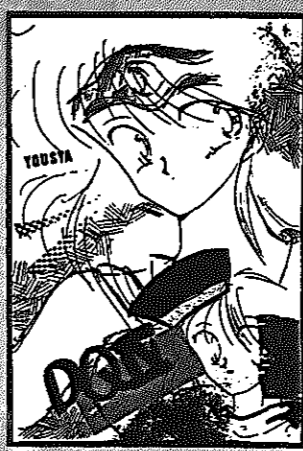


いんちん CLUB



▲ペンネーム
あんちゃんさん
(白根・18歳)



▲ペンネーム
あきさを輝さん(熊野・13歳)



▲関根真理子さん
(茨城)



▲ペンネーム
光輪 礼さん(田尾・15歳)



▲ペンネーム
さきがわ★かるまさん
(山崎興野・13歳)

どれもこれも、力作でボツにしたくない作品ばかり。そこで、来月は1ページ全部イラストで迫ります。待ってるヨロヨロ！イラストは官製はがきと書いてください。

●ペンネームを希望する人も、住所、氏名、年齢をお忘れなく。

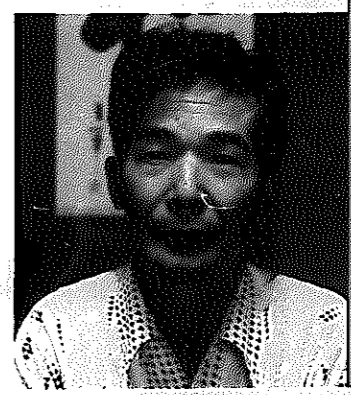
●あて先は 〒950-12 白根市大字白根 白根市役所 企画調整課 広報広聴係 です。

●採用分には粗品を差し上げます。

人

川柳は庶民の代弁者

今井七郎さん(鹿向台団地・五十九歳)



「川柳は百人いれば百人とも書けます。ただし五年も十年も続けて書ける人は、なかなかいません」

今井七郎さんが本格的に川柳に取り組み始めてから十八年。新聞などの文芸欄に投稿して掲載された川柳は約千九百句にもなります。

今年四月の第四十三回日報柳壇賞をはじめ、数多くの賞を受賞。「賞をもらえよううれしいですが、一日で忘れることにしています。うれしさに浸っていると、句の進歩がなくなりますから」と今井さん。

「川柳の本質は、権力者に対する弱者の抵抗なんです。だから高い芸術性よりも、分かりやすさが求められます。だれが見ても分かる、私もそう思う、という句ですね。庶民の代弁者として共感を呼ぶのが川柳の良さなんです」

専門誌などの選者になる機会も多い今井さん。句会では1時間ほどで二百以上の句を審査するといいます。

「川柳の基本はやはり五・七・五です。そしてリズム感があるか、内容はどうか、言葉表現がうまく使っているかどうか、などに注意します。さらに言えば、時代背景がきちんとしていない句は「古い」という

ことになりません。『今』を反映しないとだめですね。そんな意味で、若い人からも川柳を作ってもらいたいですね」

新聞や小説、テレビの中の、これとは違う言葉は「自分の頭の中の辞書に取って置く」という今井さん。

「昔は、人に負けないで上手に作ろうと思っていましたが、今は苦勞しないので楽しく、とっています。何事もそうかもしれませんが、才能プラス努力ですね。これまで続けてこれたというのは、結局は川柳が好きだからですよ」と話します。

人情の機微や、時代の流れを見事に言い表した「今井旺波」の川柳はどうやら不断の努力の産物と言えるようです。

妻という一枚だけの当たりクジ

今井 旺波

町並み

前回でもお話ししましたが、白根という地名の由来や伝説にも見られるように、白根と水と縁が深いようです。

元禄十二年(一六九九年)の「白根町之図」を見ると、風見橋付近が「片原町」、一の町が「材木町」と記されています。あくまでも想像ですが、二つとも船着き場を連想させます。

片原町は白根神社がまだ創立されていないころの呼び名ではないでしょうか。また、材木町は上流から材木を運んできた名残を思わせます。いずれにしてもこの二つの地名は水運にちなむ古い名前を示しています。

道路や水路を見ると整然と区画されていて、「都市計画」の

存在さえ伺わせません。殊に神社や寺院が南北に、高札(町役場)が中央に、箆守(交番)が中央下に、それぞれ具合よく配置されています。

袖山家文書では、この絵図の景観は元禄二年、六斎市の開市のときに整えられたと伝えていますが、なるほどと思えます。

しかし、わずか十年余りで二百二十一軒の大半が建設されたとするには無理があるようです

産業と水運

残念なことにはこの問いに答える町方文書はまだ発見されていません。しかし、新発田藩の資料などから推定すると、製造業では藍染め、草履、しょうゆ、納豆などの製品が作られる一方で、水運業や販売業、金融業などが盛んだったようです。

先回のすごろくの絵にも、白根が商人の町として描かれています。運が盛んだったと思われる。また、白根は新発田藩の継所(小さな宿駅)として、大小名や役人が宿泊、休憩しました。そのため、公的にも水運業は保護されていました。

ですから、昭和三十三年に姿を消した、水運の神様でもある事比羅神社は、白根にとって重要な意味を持っていたのです。

② 水運と白根



が、なんらかの整備が行われたのは確かでしょう。

事比羅神社

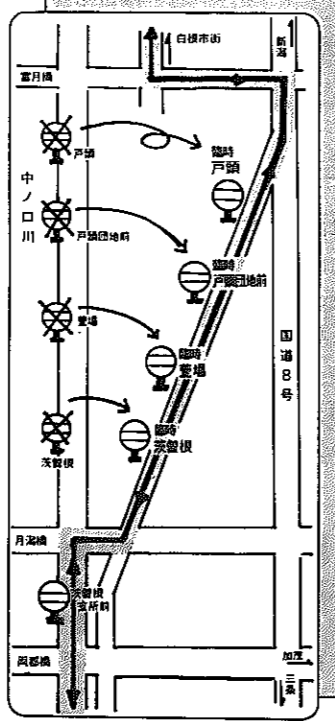
ところで、「白根町之図」には記してありませんが、現在の産業厚生会館のところに水運の神事比羅神社(通称こんびらさま)がありました。祭神は大物

バスがう回します

とき 8月1日(火)~31日(木) 17時

路線 白根-新飯田線

河川改修工事に伴い、富月橋から菫場橋までの間が全面通行止めとなっています。バスは市道をう回しますので、ご注意ください。



店舗等設備投資相談室

店舗や設備投資などの相談を行っています。

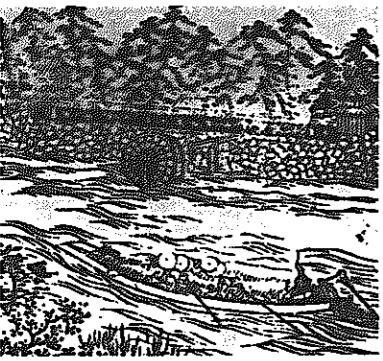
市と白根商工会、市商業振興協議会では、個店が行う設備投資計画や、今後の経営方針の相談を受けるため、今年度から「店舗等設備投資相談室」を設置しました。

専門家が相談を受けます。気軽に利用してください。

□相談員 中小企業診断士 田村昌美さん(田村診断士事務所) 店舗専門家 奥谷栄さん(機装備工業取締役工場)

長) □相談内容 店舗 店舗レイアウト、店舗改装、概算見積もり、積算など 経営 商品政策や財務分析などによる投資計画の検討 □申し込み 毎月二十日までに商工会へ

□相談方式 相談員が直接お店に向いて相談。時間は二時間程度。料金無料。必要に応じて継続します。□問い合わせ 白根商工会(☎373・4181)へ



▶永代大雄書万曆大成
(白根市史巻七・一九一ページ)